

豪州：アジズさん スイスから難民認定

スーダン難民のアジズ・ムハンマトさんが6月初旬、スイスの難民認定を受け、スイスに移り住めるようになりました。

6年前、19才だったムハンマトさんは、ダルフル紛争下のスーダンを脱出してオーストラリアを目指したのですが、送り込まれたのは、パプアニューギニアのマヌス島でした。

戦禍が絶えない母国で、小さいころから生きる権利さえも奪われる人びとを身近に見てきたムハンマトさん。マヌス島の難民が置かれる過酷な状況を目の当たりにして、なんとか状況を変えたいと思い、ツイッターで難民の様子を伝える記事や写真を発信し始めました。その後の取り組みが評価され、昨年、アムネスティなどの人権団体が贈るマーティン・エナルズ賞を受賞しました。そして今回、スイスから難民認定の知らせが届いたのです。

知らせを受けたアジズさんは、アムネスティに「皆さんの懸命な応援と当局への働きかけのおかげで、スイスの難民認定を受けることができました。あまりに嬉しくて言葉になりません」というメッセージを送ってくれました。小さい頃からの夢だった人権派の弁護士になる決意を新たにされたそうです。

ツイッターでも「スイスが難民として認めてくれました。6年ぶりの自由です」と喜びを語っています。



フランス：難民支援者が無罪に

移民や難民を支援する英国人トム・チトコウスキさんが、警官への侮辱と暴行の容疑に問われていた裁判で、フランスの裁判所は6月20日、いずれの容疑も却下し、無罪を言い渡しました。

チトコウスキさんは、ドーバー海峡に面したカレーで移民や難民を支援し、彼らに対する当局の不当な対応を世界に訴える活動をしてきました。

昨年7月、警官が食糧を配給していたボランティアを排除しようとしたため止めに入ったところ、身柄を拘束され、警官への侮辱などの容疑で起訴されたのです。有罪なら5年以下の刑と罰金になるところでした。

カレーでは、これまでも警察による支援ボランティアへの嫌がらせや脅し、暴力行為が起きています。背景には、移民・難民を排除する風潮の高まりで、移民らの支援も認めない動きが広がっていることがあります。

窮状にある難民らを支援するのは、人権を擁護する上で当然の行為であり、強引に容疑を仕立てて摘発しようという当局の姿勢を看過することはできません。裁判所は、当然の判断を下したと言えます。



Tom Ciotkowski, 2019 © Amnesty International

ロシア：NGO メモリアル幹部が仮釈放

薬物関連容疑で有罪判決を受けた人権 NGO メモリアルのオユブ・ティティエフさんが恩赦を受けて6月21日、釈放されました。

ティティエフさんは昨年1月、自家用車に乗り込もうとしたところ警察の職務質問と車内捜索を受け、車内から薬物が見つかったとして逮捕されました。

法廷での検察側の主張は、矛盾やごまかしが目立ち、その証人のほとんどが警官にも関わらず、被告の容疑を十分に立証できず、写真などで裏付けのある事実も否定するというお粗末ぶりでした。

チェチェン当局は、無実の人物に罪を着せるために、しばしば証拠を捏造し、法を乱用してきました。今回もただただ、ティティエフさんの活動を封じるために、強引に容疑を捏造したのです。

一旦は、有罪判決を下した裁判所が、仮釈放を認めたのは画期的です。UAの参加者を始め世界中からティティエフさんの不当な裁判に怒りの声が上がったことが、仮釈放につながったと言えます。

UAで支援してくれた皆さんに感謝するとともに、裁判所の正義を今後も期待したいと思います。



支援者に感謝の気持ちを語るティティエフさん 2019年6月©Amnesty International

ノルウェー：タイベさん家族 強制送還免れる

タイベ・アバシさん家族が、アフガニスタンの首都カブールに着く直前、強制送還を免れました。

6月15日、タイベさんと兄弟、母親の4人は、母親の祖国パキスタンへいよいよ送還されることになり、空路でノルウェーを出発しました。ところが、経由地のイスタンブールで母親が体調を崩したため、母親一人だけがノルウェーに送り返され、タイベさんら3人は、いつカブール行きの便に乗せられてもおかしくない状況にありました。

ノルウェーにいるタイベさんらの友人やアムネスティの支援者からの強い要請を受け、同国政府は、強制送還を中止し、ノルウェーに戻すことを決めたのです。

家族4人が味わった恐怖の記憶は、簡単に消えるものではありません。ノルウェー政府の今後の対応も大変気がかりです。

「カブールに行けば、無力な少数民族の私たちにとって、未来はありません。これまでノルウェーで育んだ夢も希望もすべて断たれてしまいます」とタイベさんは訴えます。

アムネスティは、ノルウェー支部と連携しながら、アバシさん家族の状況の注視を続けます。



ノルウェーに戻ったタイベさんと兄2人©Private

UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル 7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本